

にいがた 畜産協会たより

公益社団法人
新潟県畜産協会

新潟市西区山田2310-15
全農にいがた第2ビル内
TEL. 025-234-6781
~6783



親子ひなまつり料理教室の様子

目次

- ◆ 令和5年度の事業計画と予算の概要 …… (2)
- ◆ 今年度の事務局体制 …………… (4)
- ◆ 昨年度の共進会の結果報告 …………… (4)
- ◆ 親子ひなまつり料理教室を開催しました (5)
- ◆ 県内における鳥インフルエンザ発生 …… (6)
～防疫措置の現場から～
- ◆ 酪農経営研修に参加しました(魚沼市) … (6)
- ◆ にいがた畜産女子会活動紹介
「ものづくり体験教室」…………… (7)
- ◆ 畜産安心ブランド生産農場だより …… (8)
- ◆ ちくさん女子の窓 …………… (8)
- ◆ 編集後記 …………… (8)

令和5年度の事業計画と予算の概要

令和5年3月22日開催の令和4年度第4回理事会において、令和5年度事業計画及び収支予算が決定されました。

当協会は、今年度当該事業計画に基づき農林水産省及び（独）農畜産業振興機構が実施する事業実施主体の公募に参加し、国、県及び中央団体の指導のもと、会員、関係機関及び関係団体と連携して、経営安定対策、生産性向上対策や家畜衛生対策など公益性の高い事業に取り組み、畜産経営体への諸支援に努めます。また、引き続き事務局体制の健全な運営をめざして諸課題に取り組みます。

○ 事業計画骨子

1 公益目的事業

畜産物の価格変動による損失を補填する事業、畜産業を営む者の経営の指導、家畜の飼養管理及び保健衛生に関する技術指導等を通じて畜産の振興に寄与する事業

(1) 畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補填する事業

肉用子牛生産者補給金制度及び平成30年12月に開始された肉用牛肥育経営安定交付金制度の両法律事業を適切に実施します。

(2) 畜産経営体に対する経営及び技術の改善指導、高能力家畜、器具・器材等の導入に対して助成を行う事業

ア 経営・生産基盤の強化により収益性の高い経営体を育成するため、規模拡大等により経営発展を目指す畜産経営等に対し、関係者が一体となって畜産経営診断指導を実施し、畜産経営の体質強化を図ります。

イ 経営・生産基盤の強化により収益性の高い経営体を育成するため、畜産経営体質強化推進事業を中心とした各種の経営改善指導や「にいがた畜産女子会」の活動支援を実施します。

ウ 畜産経営基盤を強化するため、「新潟県畜産振興クラスター協議会」の事務局として畜産クラスター事業等を活用した生産性向上に係る機械導入支援や肉用牛繁殖基盤強化を目的とした肉用牛経営安定対策補完事業を実施します。



女子会経理研修会の様子



クラスター事業導入機械の一例

(3) 家畜防疫を徹底するための指導及び経費に対して助成を行う事業

ア 家畜疾病の清浄化や飼養衛生管理の強化に向けた取り組みを支援するため、牛疾病検査円滑化推進対策事業及び家畜生産農場清浄化支援対策事業に関連する衛生対策事業を実施します。

イ 家畜伝染病のまん延防止を目的として、畜産農家の初動防疫活動体制の整備推進を行うために、生産者段階での防疫演習を開催するとともに、口蹄疫、CSF等の悪性伝染病が万が一発生した場合、農場の経営再開を支援するため、生産者が基金を造成して互助補償を行う制度を推進します。

ウ 新潟県内の農場における伝染性疾病（BLV：地方病性牛伝染性リンパ腫、PRRS：豚繁殖・呼吸器障害症候群）の清浄化を実現するため、県内農場におけるモニタリング検査の実施と、清浄化取組モデル農場を設定し清浄化に向けた取り組みを支援する事業を実施します。

エ 新潟県内で産業動物獣医師又は新潟県畜産獣医師（県職員）として就業を希望する獣医学生に対し、修学資金を卒業まで貸与する事業を実施します。



佐渡地域で実施した防疫演習の様子

(4) 衛生管理基準を充足した畜産経営体を認定する事業

食の安全・安心を求める消費者ニーズに対応して、HACCPの考え方に基づく衛生管理手法を取り入れた「畜産安心ブランド生産農場」の認定を推進します。



畜産安心ブランド認定マーク

2 その他事業

畜産の振興を支援する事業

(1) 県産和牛のブランド力強化を推進する「にいがた和牛推進協議会」事務局を運営する事業

「にいがた和牛」の流通・販売対策等を積極的に展開し、一層のブランド力強化に向けた取り組みを実施します。



ロゴマーク

(2) 畜産物の消費拡大を図る事業

畜産や畜産物に対する消費者の理解増進を図るための料理教室を開催し、新潟県産畜産物の消費拡大に務めます。



「秋の味覚親子料理教室」の様子

(3) 緊急事態発生時に畜産経営体、団体に助成金を交付する事業

伝染病の発生や災害発生時等に畜産経営体等に対する緊急対策を実施します。

○ 事業計画骨子

計画事業費

(単位：千円)

区 分	事業等名称	計画事業費額	備 考
畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補填する事業	・肉用子牛生産者補給金制度 ・肉用牛肥育経営安定交付金制度(牛マルキン制度)	11,842 57,917	・肉用子牛補給金 ・牛マルキン交付金
畜産経営体に対する経営及び技術の改善指導等を実施する事業	・地域畜産支援指導等体制強化事業 ・畜産経営診断に関する事業 ・畜産特別資金等推進指導事業 ・畜産近代化リース貸付指導事業 ・にいがた畜産女子会事務局運営 ・畜産活性化推進事業 ・畜産物品質向上促進事業 ・その他指導分析等に関する委託事業	14,237 4,267 1,200 295 200 500 1,212 920	・畜産コンサル等 ・地域の共進会等支援 ・事業数3件
高能力家畜、器具・器材等の導入及び家畜防疫を徹底するための経費に対して助成を行う事業	・畜産クラスター等推進業務 ・その他器具等導入に関する委託事業 ・肉用牛経営安定補完事業 ・和子牛生産者臨時経営支援事業 ・生産基盤拡大加速化事業 ・家畜生産農場衛生対策事業 ・牛疾病検査円滑化推進対策事業 ・家畜防疫・衛生指導対策事業 ・馬飼養衛生管理特別対策事業 ・獣医師養成確保修学資金貸与事業 ・地域養豚生産性衛生向上対策支援事業 ・家畜防疫互助基金支援事業推進業務 ・その他家畜衛生関係事業	862 209 4,768 282 550 1,793 2,877 9,946 500 11,676 3,380 1,247 40	・事業数2件 ・増頭奨励、離島対策 ・地域の疾病対策支援 ・生産者を主体とした防疫演習支援継続 ・新規1名募集 ・事業数1件
衛生管理基準を充足した畜産経営体を認定する事業	・畜産安心ブランド生産農場認定事業	1,000	
畜産物の消費拡大を図る事業	・畜産理解増進事業	2,207	・親子料理教室等開催
緊急事態発生時に畜産経営対、団体に助成金を交付する事業	・新潟県畜産経営安定等緊急対策事業	2	
その他	・その他2件の委託事業等	2,815	
合 計		136,744	

今年度の事務局体制

○ 人員配置

課	職名	氏名	備考
専務理事		瀬高寛治	事務局長兼務
事務局次長		樋口良平	総務課長兼務
総務課	課長	樋口良平	
	課長補佐	鈴木奈美子	
	主事	青木貴寛	
	事務補助員	関朋子	
業務課	課長	谷川昌行	
	係長	佐藤紫織	
	技師	真保春紀	
	事務補助員	岡田久美子	
	事務補助員	石田由紀子	

○ 各課の所管業務

課	主な担当業務
総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・庶務及び経理に関する事務 ・肉用子牛生産者補給金制度 ・肉用牛肥育経営安定交付金制度
業務課	<p>【経営支援関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肉用牛経営安定対策補完事業 ・畜産経営診断に関する事業 ・畜産クラスター等推進業務 ・畜産理解増進事業 ・畜産相談窓口の設置 <p>【衛生指導関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家畜生産農場衛生対策事業 ・家畜防疫互助基金支援事業 ・牛疾病検査円滑化推進対策事業 ・家畜防疫・衛生指導対策事業 ・獣医師養成確保修学資金貸与事業 ・馬飼養衛生管理特別対策事業 ・地域養豚生産衛生向上対策支援事業 ・畜産安心ブランド生産農場認定事業 <p>【その他の事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にいがた和牛推進協議会 ・にいがた畜産女子会 ・新潟県畜産振興クラスター協議会

昨年度の共進会の結果報告

当協会では、本県の畜産振興に寄与するため、主に県下一円又は市町村の範囲以上を参加地域とする畜産共進会等において、優れた成績を収めた方に対し賞状及び副賞を交付しています。

昨年度は、令和4年6月から12月までに7ヶ所の共進会で交付いたしました。詳細は下記のとおりです。

行事名	主催者	賞名	受賞者	住所
第47回全佐渡ブラック＆ホワイトシヨウ	佐渡スイン良会 ルイ改同志	経産チャンピオン	金子知樹	佐渡市
第29回J A佐渡和共進会	佐渡農業協同組合	優等賞(未經産)	岡崎 敦	佐渡市
		優等賞(経産)	小崎邦宏	佐渡市
三合肉牛勉強会	新潟市業同組合	ベスト枝肉賞	津村岳志	新発田市
第20回十日町農業協同組合養豚部共進会	十日町業同合豚会	最優秀賞	生越正徳	十日町市
		優秀賞	有限会社 姿農場	十日町市
令和4年度新子共進会	全国農業連合会新潟県本部	最優秀賞	高橋勝美	十日町市
第67回新潟県牛評会新肥求共励会	全国農業協同組合新潟県本部	最優秀賞	合同会社 アグリフロンティア	村上市
		優秀賞1席	小野正義	胎内市
		優秀賞2席	小野耕司	胎内市
くびき肉牛枝肉研究会	えちご上越農業協同組合肉用牛会	最優秀賞	荻谷耕治	上越市



親子ひなまつり料理教室を開催しました!



令和5年2月26日(日)、新潟調理師専門学校様のご協力のもと、ひなまつり料理教室を開催し、延べ20名が参加しました。

今回は新潟県統一和牛ブランド「にいがた和牛」の知名度向上・消費拡大を目的として、にいがた和牛を用いた「にいがた和牛の甘辛炒めの太巻き寿司」「佐渡牛乳の白味噌グラタン」の2品を調理しました。

新型コロナウイルス感染症対策として、出来上がった料理は容器に詰めてお持ち帰りいただいたため、完成した料理の感想を頂くことはできませんでしたが、専門学校の皆様の手厚いサポートもあり、開催後に実施したアンケートでは、全員から「参加してよかった」との評価を頂くことができました。

当協会では今年度も同様に県産畜産物を食材とした料理教室の開催を予定しています。



講師を務めていただいた
新潟調理師専門学校の仁科先生



専門学校のスタッフさんが
丁寧にサポートしてくれました。



佐渡牛乳の白味噌グラタン



にいがた和牛の甘辛炒めの太巻き寿司

冬期活動報告

県内で高病原性鳥インフルエンザ発生 ～防疫措置の現場から～

今年度は高病原性鳥インフルエンザが相次いで発生し、令和5年3月20日時点で26道県80事例が発生し、約1,600万羽が殺処分の対象となっています。1シーズン当たりの発生件数及び殺処分羽数とも過去最高となり、特に採卵鶏での発生が57事例と多く、鶏卵の供給不足や価格上昇等の影響が出ています。農林水産省では供給が戻るまでには半年から1年近くかかるとみえています。

本県においても、5事例発生し、257万羽が処分の対象となっており、処分鶏は茨城県の434万羽に次いで2番目に多い羽数となっています。このため、当協会でも県から防疫作業に対する協力要請を受け、獣医師を含む役職員を派遣しています。

また、当協会では、毎年県内2～3か所で生産者を対象とした防疫演習を県等と共催で実施しています。今後も、より効果的な防疫演習を行い、円滑な防疫体制の確保を支援してまいりますので、御協力をお願いいたします。



酪農経営研修会に参加しました(魚沼市)

円安やウクライナ情勢の影響で資材・飼料価格が高騰しており、畜産経営にとって厳しい情勢が続いています。

このような情勢の中で、県内における優良事例で実施している飼養管理方法を参考にして、収益性を向上させることを目的とした研修会が令和5年2月10日、魚沼市のJA北魚沼藪神プラザ店で開催され、管内の酪農家11名を含む19名が研修会に参加しました。

主催は魚沼地域農業振興協議会及び畜産振興部会で、研修会の内容は酪農経営を対象としており、市内の事例について魚沼地域振興局の荒木専門指導普及員が、県内事例について当協会の真保技師が紹介しました。

紹介された取組の内容は下記のとおりです。

○魚沼市内事例

- ・暑熱対策の強化
- ・搾乳ストレスの低減
- ・牛体へのふん付着低減
- ・飼槽改善による残飼の低減
- ・作業指示明確化による作業平準化
- ・搾乳手順見直しによる体細胞数の低減

○県内事例

- ・乳汁検査を活用した乳房炎管理
- ・繁殖ボードによる牛群管理
- ・草地更新計画策定と草種選定による自給飼料品質・収量の向上
- ・空き牛房を活用したカーフハッチの作成
- ・JAによる畜舎消毒の実施
- ・厚さ4cmの牛床マットで快適性向上
- ・様々な暑熱対策取り組み事例



(公社)中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！

配信中の内容：国産原料100%の飼料で黒毛和牛を肥育する農家に密着！／シリーズ 令和の畜産危機にさせないために／放牧で飼料代・燃料代を抑えた酪農経営／他



◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



(公社)中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846



ものづくり体験教室～食品サンプルを作ろう！～ を開催しました！

にいがた畜産女子会では、定期的な会員同士の交流を行い、様々な活動をしております。

2月4日（土）に新潟市南区のイワサキ・ピーアイ新潟工場にて食品サンプルづくりの体験教室を開催しました。今回製作したサンプルは畜産物にちなみ「豚の生姜焼き」と「ソフトクリーム」です。体験にあたっては、会場を提供していただいた食品サンプル製作会社イワサキ・ピーアイ様に全面的にご協力いただき、当日は新潟工場長の佐藤様をはじめとしたスタッフの方々がコツなども含めて作り方を教えてくださいました。

豚の生姜焼きはイワサキ・ピーアイ様が販売している製作キットを材料に作りました。最初は食品とは似ていない材料が、製作工程を重ねてどんどん本物の食品に近くなっていく様子に、参加者からは驚きの声が上がっていました。同じ材料を使っていましたが、色塗りや盛り付けなどが一人一人違ったため、最後はそれぞれの個性が光る作品に仕上がりました。



佐藤工場長のコツを交えた作り方説明



←この豚肉の材料を加工すると
こうなります！→



ソフトクリーム作りはコーンの上にクリームを絞りながら巻いていくのですが、なかなか力とコツがいる作業で、少し苦戦しながらも、スタッフの方に補助していただきながら作りました。人によってソフトクリームが普通サイズだったり特盛サイズだったり、こちらも個性が出て大変盛り上がりしました。



皆さんに見守られながらクリーム絞り



個性豊かなソフトクリームサンプルたち

令和5年度も皆さんで楽しみ、お役に立てる企画をしていきたいと思っておりますので、会員の方々はよろしくお願ひします。また、女子会にご興味のある方は、ぜひ当協会までご連絡ください。

畜産安心ブランド生産農場だより

山古志肉用牛生産組合

松井 富栄

私は現在、黒毛和牛20頭、闘牛50頭を飼育しています。そして、自分で肥育した肉牛を自宅で加工・直売しています。

大学を卒業後、食肉の卸売り商社に入社し食肉の卸売り販売をしていましたが、中越地震をきっかけに地元に戻りました。初めは長岡市の仮設牛舎で闘牛の飼育をしていました。帰村後も闘牛の飼育をし、父と、同郷の関さんらが、山古志肉用牛生産組合を立ち上げ、黒毛和牛を生産していたのを手伝っていました。

帰村はしましたが、山古志は過疎高齢化がより一層進んでしまい、山古志の黒毛和牛の牛肉を特産品にできないかと思い、自宅の地下に加工場を作り、兄に加工してもらいました。

中越地震によって私が住んでいた木籠集落は水没してしまいましたが、震災遺構として水没家屋が残され、震災メモリアルパークとして整備されました。そこにある郷見庵という直売所で、山古志産にいがた和牛として直売しています。長岡市や新潟市の飲食店でも取り扱ってもらえるようになりました。

2015年、父が亡くなり、その後を継いで黒毛和牛の肥育を始めるようになり、それと同時に闘牛会の会長にも就任し大変な時期でしたが、周りの方々に支えられてやってくることができました。

始めた当初は格付けを基本とした牛の育て方を目指していましたが、お客様の声からしだいに、格付け=お客様の感じる美味しさではないのではないか？と気が付きました。それからは、格付けよりもお客様や飲食店さんからの声を大事にした肉牛の生産をしています。

牛は昔から人のために働いてくれ、人を楽しませてくれて、最後は人が命を頂く、とても大切な生き物です。牛と人との歴史、文化を伝えながら牛と共に畜産の振興に携わっていきたいです。



ちくさん女子の窓

北陸農政局新潟県拠点 三田 晶子

北陸農政局新潟県拠点で畜産振興を担当しています。私は長崎市の寿司屋の娘で、畜産とは無縁の出身ですが、魚よりも肉・牛乳・卵の方が大好きで、牛乳は毎日1L飲んでおりました。魚には愛情がわかず、心トキメクのは子牛・子豚・ひよこで、大学から畜産にどっぷりとはまっています。新潟県にきて4年、牛たちに触れる機会がほとんどなく寂しく思っておりましたが、昨夏、畜産女子会の皆様と農林水産省「子ども霞が関デー」のオンラインイベントで新潟県の畜産をPRする機会があり、皆様が大切に育てている牛・豚・蜂と触れ合っ、鶏を遠目で見て、皆様と畜産トークをして、心を充電することができました。これからも新潟畜産をPRしていきたいと思います。



農林水産省「子ども霞が関デー」のオンラインイベントで、畜産女子会の皆様とおそろいのTシャツを着て、Aromatica Labo.木下代表と一緒に新潟県の畜産をPRしてきた様子です。

編集後記



輸入飼料価格の高騰、子牛市場価格の下落、円安・ウクライナ情勢に影響された物価上昇、全国的な鳥インフルエンザの発生…令和4年度は、畜産経営にとってとても厳しい1年でした。

ともすれば「ここまで厳しい状況の中で経営診断に何ができるのだろうか」と無力感に襲われそうになるところを、様々な方から経営方針や将来の経営計画について相談をもらい、コンサル団員の皆様とともに実現可能な対策をすり合わせていくことに微力ながら助力させていただく中で一年を過ごすことができました。

皆様から頂いた信頼に恩返しができるように、今後も努力して参りますので、今年度もご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(編集担当：真保)



我が家の猫です。(二匹になりました)